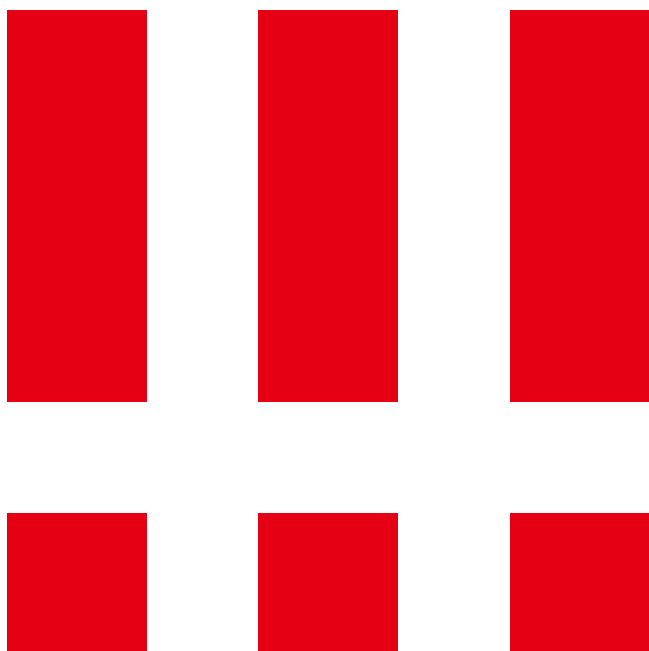




CUPNOODLES MUSEUM

YOKOHAMA

Creative Thinking

～創造的思考～

ここは、子どもたちひとりひとりの中にある
創造力や探究心の芽を吹かせ、
豊かに育てるための体験型食育ミュージアム。
世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、
地球の食文化を革新した日清食品創業者・安藤^{ももふく}百福の
「クリエイティブシンキング＝創造的思考」を
数々の展示を通じて体感することが出来ます。
見て、さわって、遊んで、食べて、
楽しみながら発明・発見のヒントを学び取り、
自分だけのクリエイティブシンキングを見つけてください。



KUNIO MUSEUM





「百福の研究小屋」の内部

!!! インスタントラーメンの父



安藤百福 あんどう ももふく (1910~2007)

1910年3月5日生まれ。

日清食品創業者。

安藤スポーツ・食文化振興財団創設者。

1958年、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、インスタントラーメン産業を創出。1971年、世界初のカップめん「カップヌードル」を発明。日清食品の代表取締役社長、会長を務めるとともに、日本即席食品工業協会会長、世界ラーメン協会会長として業界の発展に努めました。1983年、私財を投じて安藤スポーツ・食文化振興財団を設立し、青少年の健全な心身の育成にも力を注ぎました。

!!! Create Foods to Serve Society

食を創り世の為につくす

人生すべてを新しい“食”の創造に捧げた安藤百福。

96年間の生涯を通じて持ち続けたのは、「クリエイティブな発想」と
「最後まであきらめない執念」でした。

第1の発明「チキンラーメン」(1958年)

大阪府池田市の自宅裏庭に建てた小屋で、“お湯があれば、家庭ですぐ食べられるラーメン”の開発を始めた安藤百福。1日平均4時間という短い睡眠時間で丸1年間、1日の休みもなく、たった1人で研究を続けました。さまざまな試行錯誤の末に誕生した「チキンラーメン」は《魔法のラーメン》と評判になり、またたく間に爆発的な人気を集めました。



第2の発明「カップヌードル」(1971年)

アメリカへ視察に出かけた時のこと。スーパーの担当者たちは、「チキンラーメン」を小さく割ってカップに入れ、お湯を注いでフォークで食べ始めました。インスタントラーメンを世界に広めるためのカギは、食習慣の壁を越えることにあったと気づいた安藤百福。さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」が誕生したことにより、日本で生まれたインスタントラーメンが「世界食」に生まれ変わりました。

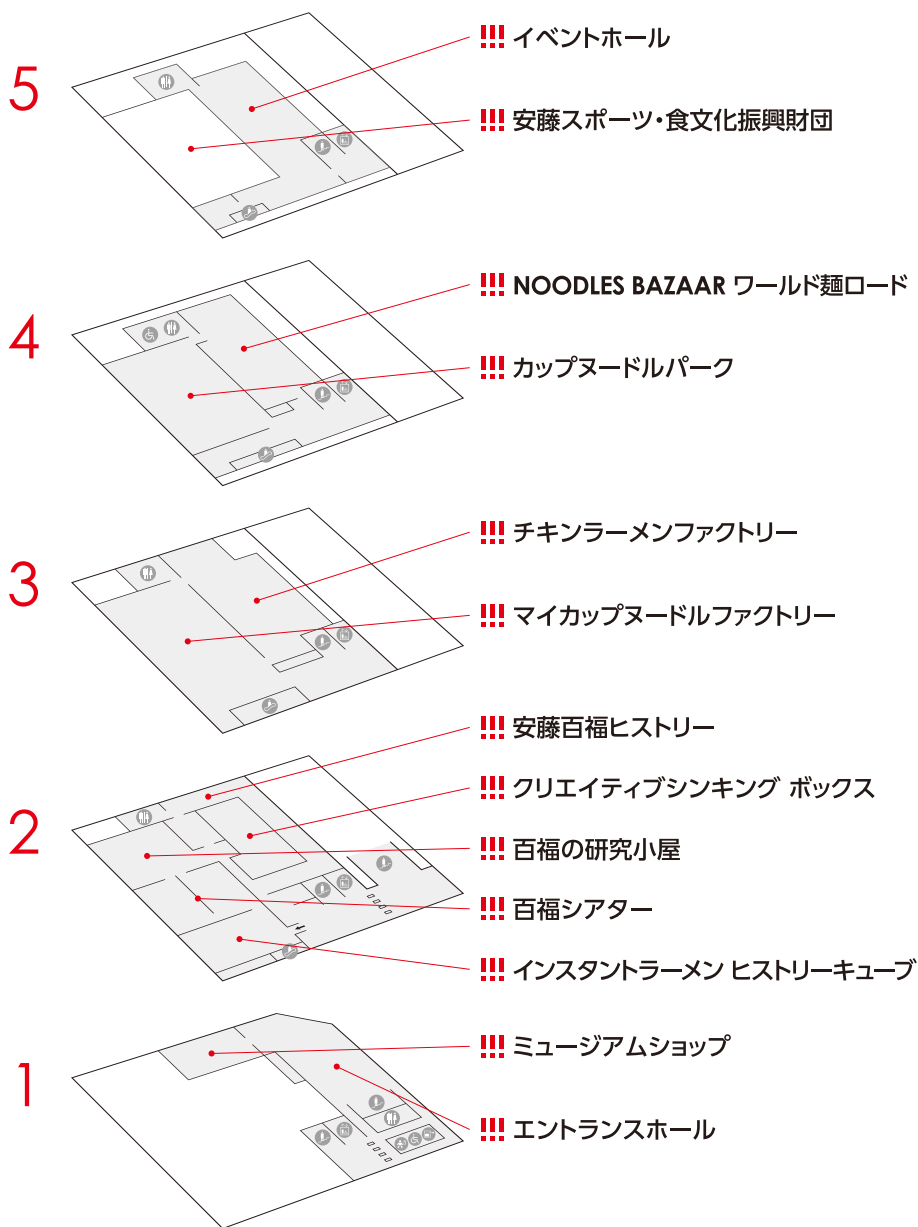


第3の発明「スペース・ラム」(2005年)

「宇宙食を開発したい」…安藤百福が抱いていた夢の実現にむけて、開発が始まった宇宙食ラーメン「スペース・ラム」。無重力状態で食べるためのさまざまな工夫が加えられた一方で、その基礎となったのは、1958年に自らが発明した技術「瞬間油熱乾燥法」でした。安藤の創造的思考は、時を超えて宇宙空間でも人類の「食」を支えることになったのです。



!!! カップヌードルミュージアム フロアマップ





!!! インスタントラーメン ヒストリーキューブ

「チキンラーメン」から始まるインスタントラーメンのラインアップを展示。たったひとつの商品から始まったインスタントラーメンが、世界的な食文化に発展していく様子を、3,000 点を超える圧倒的な数のパッケージで表現します。



!!! 百福シアター

インスタントラーメンの歴史をさかのぼり、波乱の人生を乗り越えて世界的な発明を成し遂げた安藤百福の生涯を、「MOMOFUKU TV」と題したCGアニメーションで展開。安藤百福の「クリエイティブシンキング = 創造的思考」の原点となる“6つのキーワード”を、楽しくわかりやすく紹介します。



!!! 百福の研究小屋

世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が誕生した研究小屋を忠実に再現。「たとえ特別な設備がなくてもアイデアがあれば、ありふれた道具だけで世界的な発明が生み出せる。」そんなメッセージが、この研究小屋に込められています。



!!! 安藤百福ヒストリー

安藤百福の生涯を、当時の時代背景や親しみやすいイラストをまじえながら、全長約58mの大パノラマで紹介。「クリエイティブシンキング ボックス」の“6つのキーワード”ともリンクしながら、“食”の創造に人生を捧げた安藤百福の足跡をたどります。

!!! クリエイティブシンキング ボックス

安藤百福は、あふれる好奇心と、創造的思考(クリエイティブシンキング)で、

誰も考えつかなかったような大胆なアイデアを次々実現しました。

ここには、安藤百福のクリエイティブな発想を知る、6つのボックスが用意されています。

遊びながら、楽しみながら、あなた自身の発明・発見のヒントを見つけ出しましょう。

6つのキーワード

5 常識にとらわれない

生活の中でアタリマエとと思っていることを疑う!

1 まだ無いものを見つける

世の中にはまだ無いが、
「あったらいいな」というものを探す!

4 タテ・ヨコ・ナナメから見る

いろいろな視点を発見する!

6 あきらめない

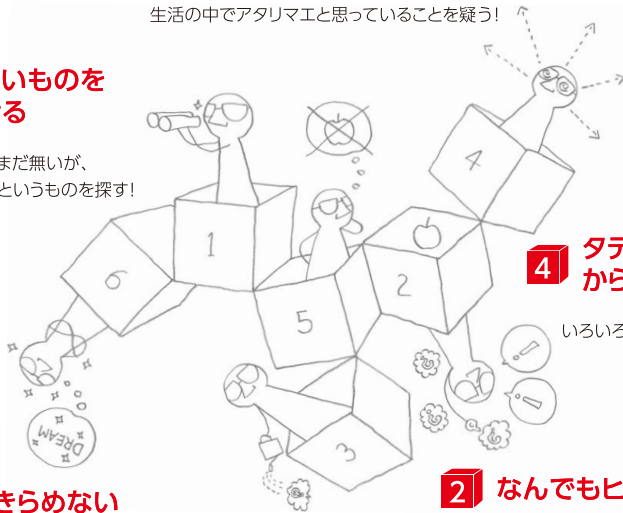
一度や二度の失敗にもくじけない!

2 なんでもヒントにする

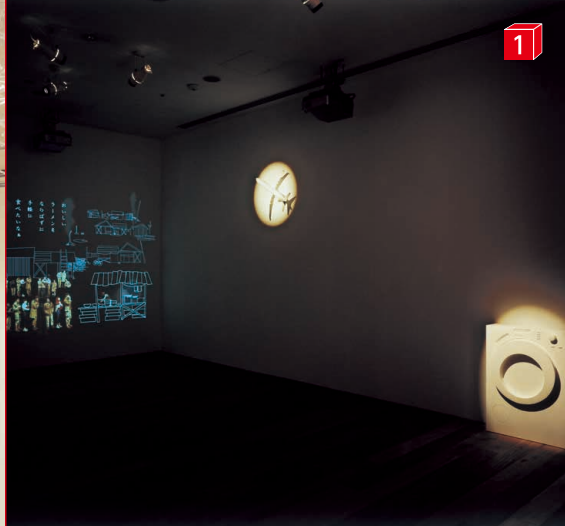
アイデアのヒントは身のまわりに転がっている!

3 アイデアを育てる

発明はひとりじめせずみんなに使ってもらう!



安藤百福の「クリエイティブシンキング＝創造的思考」の原点となる“6つのキーワード”を、「ボックス」の中で見る者の五感に訴えかける手法で表現。次の「ボックス」から何が出てくるのかといった期待感、ワクワク感を重ね合わせ、創造性(クリエイティビティ)を育むうえで欠かすことのできない6つの要素を体感することができます。





MY CUP NOODLES FACTORY マイカップヌードルファクトリー

!!! マイカップヌードルファクトリー

世界でひとつだけのオリジナル「カップヌードル」を作ることができます。自分でデザインしたカップに、4種類の中から好みのスープと、12種類の中から4つのトッピング具材を選ぶことができます。味の組み合わせは、合計5,460通りです。

【ご利用料金】 1食 500円 (消費税込)

※ご希望者多数の場合は、受付を早めに終了することがあります。 ※体験するには「整理券」または「利用券つき入館券」が必要です。
 ※小、中、高等学校の学校教育で利用の場合は無料となります。実施の1年前より予約専用ダイヤルにて受け付けます。

さあ、世界にひとつだけのマイカップヌードルを作ってみよう!

1  自動販売機で専用カップを買います	2  アルコールで手を消毒します	3 Design  カップをデザインします
4  めんをセットします	5  スープ・具材を選びます	6  カップにフタをします
7  シュリンク包装をします	8  エアパッケージに空気を入れます	9  マイカップヌードルの完成です!

※⑥⑦の工程はスタッフが行います。



チキンラーメン ファクトリー



!!! チキンラーメンファクトリー

小麦粉をこね、のばし、蒸したあとに味付けし「瞬間油熱乾燥法」で乾燥させるまでの工程を通じて、「チキンラーメン」を手作りすることができます。世界初のインスタントラーメンが生み出された発明の原点を体験したあとは、作りたてのおいしさをご家庭でお楽しみください。

【スケジュール】 1日8回・各回90分

[1] 10:15～ [2] 11:00～ [3] 11:45～ [4] 13:15～
[5] 14:00～ [6] 14:45～ [7] 15:30～ [8] 16:15～

【定員・対象】 各回48名・小学生以上

【ご利用料金】

小学生 600円 / 中学生以上 1,200円 (消費税込)

参加者全員に「ひよこちゃんバンダナ」のお土産が付きます。

※小、中、高等学校の学校教育で利用の場合は無料となります。

実施の1年前より予約専用ダイヤルにて受け付けます。

注意事項

- ・未就学児は体験できません。
- ・作業はペアで行います。なお小学生1・2・3年生は中学生以上の方とペアで体験してください。
- ・開始時間の15分前までに3階カウンターで受付をお済ませください。遅れた場合は自動的にキャンセルさせていただきます。
- ・参加者以外は、会場内に入ることができません。

【お申し込み】

○事前予約

・体験希望日の3ヶ月前の同日午前10時よりインターネット又は予約専用ダイヤルにて予約を受け付けます。

※団体(21名以上)の予約は、電話のみでの受け付けとなります。

・各回の定員に達し次第、予約の受け付けは終了します。

・2人1組のペアで体験していただきますので、できるだけ偶数人数でお申し込みください。

・1名でのお申し込みはできません。

インターネット (24時間受付、PC/携帯共通)

<http://www.cupnoodles-museum.jp/>

予約専用ダイヤル

(10:00～18:00、休館日を除く)

045-345-0825



○当日申込

3F「チキンラーメン受付カウンター」へお越しください。

※当日のお申し込みは、空席がある場合に限りさせていただきます。

!!! カップヌードルパーク

「カップヌードル」の製造工程を体感することができる屋内アスレチックです。自分自身が「カップヌードル」の“めん”となり、製めんから出荷されるまでの工程を、子どもたちが楽しみながら全身で体験していきます。



【ご利用料金】

1回[30分間入替制] 500円(消費税込)
※ご利用時間25分間

【ご利用対象】

3歳以上小学生以下(身長90cm以上)

注意事項

- ・本アトラクションは、お客さまの自己責任のもとでお楽しみいただくアスレチック施設です。安全管理には十分ご注意ください。
- ・3歳から小学生未満のお子様には、保護者の方の同伴をお願い致します。





!!! NOODLES BAZAAR ワールド麺ロード

安藤百福がめんのルーツを探る旅「麺ロード」で出会った8カ国のめんを味わえるフードアトラクション。
アジアのナイトマーケットをイメージした空間で、世界に広がるめんの食文化をお楽しみください。

MENU 1食 [ハーフサイズ] 500円 (消費税込)



イタリア: パスタ



カザフスタン: ラグマン



中国: 蘭州牛肉面
らんしゅうにゅうろうめん



韓国: 冷麺
れいめん



ベトナム: フォー



タイ: トムヤムクンヌードル



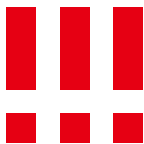
マレーシア: ラクサ



インドネシア: ミーゴレン

※料理制作にあたり、安藤百福が主宰した「めんの系譜研究会」代表メンバーの石毛直道氏(国立民族学博物館名誉教授)に監修していただきました。

カップヌードルミュージアム コンセプト



CUPNOODLES MUSEUM

総合プロデュース 佐藤可士和

人類と食の関係に、大きな進化をもたらした安藤百福氏の卓越した「発想力」や「ベンチャーマインド」とは、まさにこれからの時代に求められる創造的思考。新たに「カップヌードルミュージアム」を設立するにあたり、「創造的思考＝クリエイティブシンキング」をコンセプトに据えました。

日本はもちろんアジア各国からも大勢のお客さんが来場されるこのミュージアムでの体験を通して、ぜひ百福氏の生涯を貫くクリエイティブシンキングマインドに触れ、その芽を刺激するきっかけとなればという思いで施設全体の設計を考えています。ミュージアムのロゴはカップヌードルのパッケージデザインからインスピレーションを得て「！」マークを3つ重ねました。発明や発見の楽しさ、食の大切さ、夢をもって自分で考えることの楽しさなど、様々な「！」との出会いが、このミュージアムであり、あきらめずに何かに取り組むことの大切さを感じていただければとの願いを込めてデザインしています。



佐藤可士和 Kashiwa Sato

クリエイティブディレクター

ブランド戦略のトータルプロデューサーとして、コンセプトの構築からコミュニケーション計画の設計、ビジュアル開発まで、強力なクリエイティビティによる一気通貫した仕事は多方面より高い評価を得る日本を代表するクリエイター。主な仕事に、国立新美術館のシンボルマークデザイン、ユニクロ、今治タオルのブランドクリエイティブディレクション、ふじようちえん、カップヌードルミュージアムのトータルプロデュースなど。近年は日清食品関西工場、GLP ALFALINK相模原など大規模建築プロジェクトにも従事。京都大学経営管理大学院特命教授としてクリエイティブ人材の育成にも尽力している。著書「佐藤可士和の超整理術」（日本経済新聞出版社）ほか。展覧会「佐藤可士和展」（2021年 国立新美術館）など。



公益財団法人

安藤スポーツ・食文化振興財団

安藤スポーツ・食文化振興財団

<http://www.ando-zaidan.jp>

安藤スポーツ・食文化振興財団は、日清食品の創業者である安藤百福が、青少年の健全な心身の育成のためにはスポーツの振興が欠かせないと考え、1983年に私財を投じて設立しました。以来、「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもとに、以下の5つの公益事業を行っています。

1. スポーツ支援事業

「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、スポーツを幅広く支援しています。「走ることはあらゆるスポーツの原点」という日本陸上競技連盟の考えに賛同し、「小学生陸上競技交流大会」を1985年の第1回大会から支援を続けています。また、日本バスケットボール協会主催のU18リーグ戦や、日本テニス協会の主催する「安藤財団グローバルチャレンジJr.テニス」の後援など、日本オリンピック委員会に加盟している各競技団体を通じて、ジュニアアスリート育成を支援しています。

2. 自然体験活動

「自然とのふれあいが子どもたちの創造力を豊かにする」という創設者の思いを受け継ぎ、子どもたちの「創造力」や「自活力」を育む自然体験活動の普及に取り組んでいます。全国の学校や団体が企画した自然体験活動を支援・表彰する「安藤財団 自然体験コンテスト」を2002年から実施しています。また、アウトドア活動の活性化を目的として開設した「安藤百福記念 アウトドア アクティビティセンター」（長野県小諸市）では、「歩く文化」の醸成を図るため、日本ロングトレイル協会が提唱する「JAPAN TRAIL」構想を支援しています。

3. 食文化活動

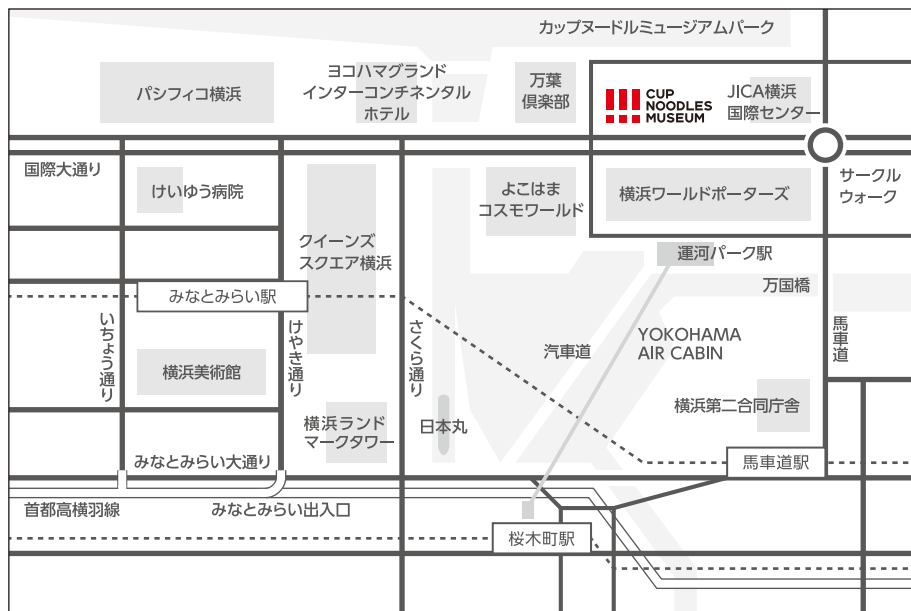
1996年に設立された「食創会」では、安藤百福の「食創為世（食を創り世の為につくす）」の理念に基づき、新しい食品の創造に繋がる独創的な基礎研究や食品開発、ベンチャー事業を奨励し、毎年、優れた食品の研究開発者や起業家を表彰する「安藤百福賞」表彰事業を実施しています。

4. 発明記念館の運営

1999年、インスタントラーメン発祥の地・大阪府池田市に、2011年には横浜市みなとみらいに、体験型食育ミュージアム「安藤百福発明記念館（愛称：カップヌードルミュージアム）」を開館し、インスタントラーメンの歴史を通じて、「発明・発見の大切さ」や「クリエイティブシンキング＝創造的思考」など世界の食文化に革新をもたらした安藤百福の思いや考えを伝えています。

5. 社会福祉事業「ヤングケアラー支援」

社会的な課題にもなっているヤングケアラーの大きな負担の一つである食事面を支援することで、家事負担を軽減し、日々の学習や友人との交流など青少年期に本来必要な環境づくりに貢献します。地方自治体や支援団体と連携することで、新たなヤングケアラーの把握や必要な行政支援に結びつけることを目指しています。



ACCESS

電車でご来館の方

みなとみらい線「みなとみらい駅」より ― 徒歩 8分
「馬車道駅」より ― 徒歩 8分
JR・市営地下鉄「桜木町駅」より ― 徒歩12分

バスでご来館の方

ベイサイドブルー
「カップヌードルパーク・ハンマーヘッド入口」 ― 下車徒歩 3分

ロープウェイでご来館の方

YOKOHAMA AIR CABIN「運河パーク駅」 ― 徒歩 5分

団体バスでご来館の方

敷地内に乗降専用場所をご用意しております。(無料)
バス駐車場は別途各団体で手配をお願いします

お車でご来館の方

首都高速神奈川1号横羽線「みなとみらいIC」より ― 5分

駐車場

台数: 40台
料金: 30分毎に250円 (当日入館券提示で最初の1時間無料)
ご利用時間: 9:00-19:00

※駐車場は利用台数に限りがありますので、公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用ください。
※19:00以降の出庫はできませんのでご注意ください。
※休館日の駐車場のご利用はできません。

【名称】カップヌードルミュージアム 横浜 (正式名称: 安藤百福発明記念館 横浜) 【住所】〒231-0001 横浜市中区新港2-3-4 [総合案内ダイヤル] 045-345-0918 / チキンラーメンファクトリー予約専用ダイヤル 045-345-0825 [受付時間] 10:00~18:00 (休館日を除く) [開館時間] 10:00~18:00 (入館は17:00まで) [休館日] 火曜日 (祝日の場合は翌日が休館日)、年末年始 [入館料] 大人500円 (消費税込) 高校生以下は入館無料 ※館内の一部施設は別途利用料が必要となります。※入館料や施設利用料は変更する場合があります。

!!! 安藤百福発明記念館